



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.946 2014年9月16日

ARIBからのお知らせ

第125回電波利用懇話会のお知らせ  
「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針について」

医療機関における携帯電話等の使用については、これまで、医療機器の電磁的耐性に関する薬事法（昭和35年法律第145号）に基づく規制、平成9年に不要電波問題対策協議会（現・電波環境協議会（略称：EMCC））から公表された指針及びマナーの問題等を総合的に勘案して、各医療機関において独自にルールが定められてきました。

一方、携帯電話等の日常生活への浸透、第二世代の携帯電話サービスの廃止、医療機器の電磁的耐性の向上等、状況は大きく変化してきています。また、医療機関における携帯電話等の無線通信機器の積極的活用は、医療の高度化・効率化や患者の利便性・生活の質の向上に大きな効果が見込まれるため、安全を確保しつつその推進を図ることが非常に重要です。

ARIBが事務局を務める電波環境協議会では「医療機関における携帯電話等の使用に関する作業部会」を設置し、「医療機関内における携帯電話等の使用に関する指針」及び「医療機関内における携帯電話等の使用に関する報告書」を取りまとめ公表致しました。

今回の電波利用懇話会では、同作業部会座長の加納 隆 埼玉医科大学教授をお招きして、今回公表した指針についてご講演いただきます。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 : 2014年10月3日（金） 午後2時から3時まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室  
東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11階
- 3 題 名 : 「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針等の公表について」
- 4 講 師 : 埼玉医科大学 大学院 医学研究科 医科学専攻  
保健医療学部 医用生体工学科 教授 加納 隆 様

- 5 対 象 : ARIB 正会員及び賛助会員  
6 参加者 : 60 名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)  
7 申込先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで  
8 参加費 : 無料  
9 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 佐藤 まで  
TEL: 03-5510-8592 E-mail: [arib-seminar2014@arib.or.jp](mailto:arib-seminar2014@arib.or.jp)

## CEATEC JAPAN 2014 での ARIB の出展について

アジア最大級の IT・エレクトロニクス総合展『CEATEC JAPAN 2014』が、10月7日(火)から5日間、幕張メッセにおいて開催されます。

ARIBでは同展示会に協賛するとともに、下記のとおり、今年もARIB独自ブースを設けて、電波システムの実用化及びその普及を促進し、電波産業の振興・発展を図る事業の一環として、最近の事業活動を紹介します。また、電波功績賞を受賞されたシステムの紹介を行うことにより、電波の有効利用に対する関心や理解を深めていく予定です。さらに昨年と同様に展示会場内にて、新技術の標準化動向を紹介するセミナーを行います。

なお、CEATECへ出展するパネル展示の内容については、ARIBホームページにて公開する予定です。

皆様のご来場をお待ちしています。

### 記

1 会期 : 2014年10月7日(火)～11日(土) 10:00～17:00

無料公開日 10月11日(土)

2 会場 : 幕張メッセ (千葉市美浜区中瀬 2-1)

ARIB 出展場所 : ライフ&ソサエティステージ (ホール 1 小間番号 1L10)

3 出展内容

- (1) パネル展示による ARIB の概要、研究開発活動
- (2) ARIB の第 25 回電波功績賞を受賞した技術やシステムの紹介

4 セミナーの開催

(1) 日時 : 10月9日(木) 15:30～16:30

(2) 場所 : 展示ホール セミナー会場6

(3) テーマ : 「通信放送分野における新技術の標準化動向」

※ 聴講は CEATEC の Web サイトからの事前予約制となっています。

5 入場 : 入場料が無料となる Web 事前登録をお勧めします。

詳細は、CEATEC の Web サイト (<http://www.ceatec.com/ja/index.html>) をご覧下さい。

## 平成 26 年度「受信環境クリーン月間」の実施について

今日、テレビ放送やラジオ放送は、誰もが様々な情報を手軽に得るために、また、生活に潤いをもたらすものとして、日常生活に必要不可欠なメディアとなっています。しかし、一方で、テレビ放送受信用ブースター、パソコンなど電気・電子機器からの雑音、無線局からの混信、建造物による放送電波のしゃへい・反射などを原因とする放送の受信障害が発生しています。

受信環境クリーン中央協議会（会長：一般財団法人情報通信振興会理事長）は、こうした受信障害の防止を図ることを目的として、昭和29（1954）年、関係省庁、関係業界団体などの協力によって設立された任意団体で、現在、地方ブロックを単位とする地方協議会及び地方協議会の内部組織として府県などを単位とする府県連絡会から構成されています。

受信環境クリーン中央協議会では、例年10月1日から10月31日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、各地方協議会及び府県連絡会と協力して、全国各地で放送電波の受信障害の防止に向けた活動を集中的に展開しています。

本月間中は、建造物障害対策、テレビ放送受信用ブースター障害対策、電気雑音障害対策、無線局障害対策を柱に、関係団体などの協力を得て、セミナー・講習会の開催、相談所の設置、調査・パトロールを実施するとともに、NHK、民放各社の協力のもとに広報番組を放送するほか、業界紙などへの記事掲載、ポスターの掲示、リーフレットの配布など幅広い周知・広報活動を行っています。

また、本活動の一環として、総務省・文部科学省・NHK・（一社）日本民間放送連盟の後援のもとに、全国の中学生を対象に「受信環境クリーン図案コンクール」を実施し、未来を担う青少年の啓発にも取り組んでいるところです。

放送電波の受信障害は、時代とともに多様化・複雑化してきています。また、電気機器などの不適切な取扱い、例えばテレビ放送受信用ブースターの感度(利得調整)の上げすぎや配線不良などが原因で広い地域に受信障害を発生させることもあります。

したがって、その防止・解消には、多くの方々の日頃からの注意・取組が不可欠です。「受信環境クリーン月間」を機に、電波障害の防止になお一層の御理解と御協力をお願いします。

（連絡先） 受信環境クリーン中央協議会事務局

TEL : 03-3940-3981

（一般財団法人情報通信振興会内）

**総務省・メーカー社長懇談会を開催**

9月11日（木）に、総務省とメーカー社長との懇談会（第14回）を都内で開催しました。本懇談会は、当会役員及び経営諮問委員のうちメーカー14社の会長又は社長と総務省幹部で、毎年一回開催しているものです。

今回は、総務省から高市総務大臣、西銘総務副大臣、長谷川総務大臣政務官及び関係局長等幹部が、当会からメーカー6社の会長又は社長がそれぞれ出席されました。

当会の山西会長（三菱電機株式会社取締役会長）の挨拶に続き、高市総務大臣、西銘総務副大臣、長谷川総務大臣政務官からご挨拶を頂きました。引き続き、スマート・ジャパン ICT戦略、4K・8K等の推進、電波政策ビジョン懇談会「中間とりまとめ」、情報通信技術に係る技術戦略への取り組み等について有意義な意見交換が行われました。



山西会長



高市総務大臣



西銘総務副大臣



長谷川政務官



総務省・メーカー社長懇談会の様子

## 第 209 回業務委員会を開催

第 209 回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせいたします。

- 1 日時：平成 26 年 9 月 10 日(水) 午後 3 時 30 分から 5 時 10 分まで
- 2 場所：当会第 2 会議室
- 3 議事概要：
  - (1) 第 92 回規格会議の結果について
  - (2) 第 93 回規格会議の開催について
  - (3) 第 18 回世界電気通信標準化協調会議 (GSC-18) の概要について
  - (4) ISDB-T インターナショナルフォーラム技術会合及び SET EXPO2014 について
  - (5) CEATEC JAPAN 2014 での ARIB の出展について
  - (6) oneM2M 技術仕様 (初版) の公開について
  - (7) 「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」の見直しについて
  - (8) その他

## 今週の ARIB 内会合 (9 月 15 日～9 月 19 日)

- 9 月 17 日 (水) : 品質評価法調査研究会  
9 月 17 日 (水) : デジタル放送システム開発部会 デジタル受信機作業班  
9 月 17 日 (水) : デジタル放送システム開発部会 多重化作業班  
9 月 18 日 (木) : 第 47 回デジタル放送普及部会 DiBEG 作業班  
9 月 19 日 (金) : 放送国際標準化ワーキンググループ 第 B3 作業班

## 今週の国際会合 (9 月 14 日～9 月 19 日)

- 9 月 14 日 (日) : ARIB-DVB 会合 (アムステルダム、オランダ)  
9 月 17 日 (水) : XGP フォーラム 定期年次総会 (新竹、台湾)  
9 月 17 日 (水) ~18 日 (木) : CJK IMT-WG (ハルビン、中国)

## 総務省からのお知らせ

### 第 24 回アジア・太平洋電気通信標準化機関 (ASTAP) 総会の結果 —我が国の前田洋一氏が次期議長に選出—

【平成 26 年 9 月 1 日 情報通信国際戦略局発表】

平成 26 年 8 月 27 日 (水) から同月 29 日 (金) までタイ王国 (バンコク) で開催された第 24 回 ASTAP 総会において、8 月 29 日に我が国の前田洋一氏 ((一社) 情報通信技術委員会 代表理事専務理事) が次期 ASTAP 議長に就任することが決まりました。

ASTAP 総会の概要及び結果等、詳細については [【平成 26 年 9 月 1 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**電波法施行規則の一部を改正する省令案等に係る電波監理審議会からの  
答申及び意見募集の結果**

**－3.5GHz 帯への第 4 世代移動通信システム (LTE-Advanced) の導入－**

**【平成 26 年 9 月 10 日発表】**

総務省は、3.5GHz 帯の周波数に第 4 世代移動通信システム (LTE-Advanced) を導入するための省令及び告示の改正案について、電波監理審議会から原案を相当とする旨の答申を受けました。

3.5GHz 帯 (3.4GHz から 3.6GHz までの周波数) への TDD の LTE-Advanced の導入のための規定の整備等を行うものです。また、意見募集に提出された 15 件の意見と、それに対する総務省の考え方が公表されました。

詳細については [【平成 26 年 9 月 10 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**地域 BWA システムの高度化等に係る制度整備案の意見募集の結果及び  
電波監理審議会からの答申**

**－無線局 (基幹放送局を除く。) の開設の根本的基準の一部を改正する省令案等－**

**【平成 26 年 9 月 10 日発表】**

総務省は、2575MHz を超え 2595MHz 以下の周波数の電波を使用する広帯域移動無線アクセス (地域 BWA : Broadband Wireless Access) システムへの WiMAX R2.1AE 及び AXGP の導入、及び同周波数は免許の対象区域における公共の福祉の増進に寄与するためのものであることの明確化等のために必要な制度整備案について、電波監理審議会から原案を相当とする旨の答申を受けました。

詳細については [【平成 26 年 9 月 10 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**第 4 世代移動通信システムの導入のための周波数の割当てに関する  
意見募集の結果及び電波監理審議会からの答申**

**－3480MHz を超え 3600MHz 以下の周波数の割当て－**

**【平成 26 年 9 月 10 日発表】**

総務省は、全国において、3480MHz を越え 3600MHz の周波数を使用する TDD 方式の第 4 世代移動通信システムのために 1 社が申請できる周波数幅を 40MHz とする等の内容の特定基地局の開設指針案等について、電波監理審議会から原案を相当とする旨の答申を受けました。

また、意見募集に提出された 16 件の意見及びそれに対する総務省の考え方が公表されました。

詳細については [【平成 26 年 9 月 10 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



**標準テレビジョン放送等のうちデジタル放送に関する送信の標準方式の  
一部を改正する省令案に係る電波監理審議会への諮問及びその答申  
並びに同省令案等に係る意見募集の結果  
－V-Low マルチメディア放送の高音質化等への対応－**

**【平成 26 年 9 月 10 日発表】**

総務省は、V-Low マルチメディア放送の音声符号化方式に MPEG-4 ALS（ロスレス）を追加して高音質化を可能とすること、AC 信号の用途に地域の防災・安全情報を追加することなどを内容とする標準テレビジョン放送等のうちデジタル放送に関する送信の標準方式の一部を改正する省令案について、電波監理審議会から原案を適当とする旨の答申を受けました。

詳細については [【平成 26 年 9 月 10 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**「ICT イノベーションフォーラム 2014」の開催のお知らせ**

総務省は、情報通信技術の研究開発成果を活用し未来を拓くイノベーションの創発を図るため、最新の研究開発動向の紹介や、総務省による新たな研究開発施策の検討状況を紹介するとともに、総務省が推進し平成 25 年度に終了した 57 件の研究開発プロジェクトの成果を発表するため、以下のとおり「ICT イノベーションフォーラム 2014」を開催いたします。

**1 日時及び場所**

- (1) 日時：平成 26 年 10 月 7 日（火）10：00～17：00（開場 9：30）
- (2) 場所：幕張メッセ 国際会議場 3 階 301～304 会議室  
※「CEATEC JAPAN 2014」と同時開催

**2 プログラム**

研究開発プロジェクトの成果発表等に加え、以下のイベントを実施いたします。プログラムの詳細及び最新情報は、以下のウェブサイトからご確認ください。

<http://www.keieiken.co.jp/if2014/>

・特別講演

「言葉の壁を超えるグローバルコミュニケーション」

木俣 豊 氏

独立行政法人情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 研究所長

・イノベーターズスペシャルトーク

「ビッグデータ処理技術の進化とエッジヘビーコンピューティング」

西川 徹 氏

株式会社 Preferred Infrastructure 代表取締役 最高経営責任者

**3 フォーラムへの参加方法等**

- (1) 参加方法：<http://www.keieiken.co.jp/if2014/>  
より必要事項を記入の上、お申し込みください。  
(事前にお申し込みを頂くと、当日は参加登録証を受付にお出し頂くだけで入場できます。)
- (2) 申込締切り：平成 26 年 10 月 3 日（金）17:00
- (3) 参加費：無料

《 注目のICT技術者資格へチャレンジ 》  
第19回 モバイルシステム技術検定

検定試験はモバイルシステム構築に必要なワイヤレスデータ通信、モバイル情報端末、アプリケーション、セキュリティ、コンテンツ、M2M など構成する要素技術の理解度を計ります。システムエンジニア、コンサルタント、営業SEなどモバイルシステムで活躍を目指す方々には必須資格となります。

MCPC モバイルシステム検定は、既に 53,000 人以上の方が受験されています(2014 年 7 月末現在)。また、多くの企業からは「取得推進資格」として認定をいただき、業界標準資格として位置づけられております。

皆様の挑戦を期待しております。

【実施日時】 2014 年 11 月 8 日 (土) 9:50~11:30

【開催場所】 札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡、さいたま、金沢、高松

【受検料】 一般 15,100 円 (税込)、協力団体 12,900 円 (税込)

※ARIB 会員各社は、協力団体料金となります。

【申込期間】 2014 年 9 月 1 日 (月) ~10 月 10 日 (金)

◆お申込みは Web から！

[http://www.mcpc-jp.org/kentei/kentei\\_msg/index.html](http://www.mcpc-jp.org/kentei/kentei_msg/index.html)

モバイルソリューションを推進する  
**MCPC**  
モバイルコンピューティング推進コンソーシアム  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2階  
<http://www.mcpc-jp.org/>

検定・講習会のお問合せは  
**MCPC検定事務局**  
MSEC・MCPC  
TEL.03-5401-1735  
FAX.03-5401-1937  
e-mail:msec@mcpc-jp.org

編集後記

「大雨特別警報」が頻繁に発表されています。

“数十年に一度の大雨になると予想される時”に発表される警報ですが、9月11日には北海道で相次いで3地区に発表されました。その基準値は、全国を5km四方に区切った領域ごとに算出してあり、北海道では、3時間雨量が150mm(1時間50mmの雨が3時間続くことに相当)以上、一定の範囲で10か所以上観測されると出されるということです。実際には1時間に100~110mmの雨が降ったようです。

このような降り方が今後も頻繁に起こるとすると、数十年に一度の大雨が毎年降ることになりそうですね。  
(編集子: bsj)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib\_news@arib.or.jp